

令和2年度 施策評価シート

■第5次粕屋町総合計画の体系

まちづくりの目標 (施策の大綱)	基本目標4 健全で持続可能な行政経営をめざすまち			
	2 健全な財政運営のまちづくり			
施策名	(1) 持続可能な財政基盤の強化			
施策コード	4-2-1	施策構成	7 事務事業	決算額 261,876 (千円)

■目標／指標の達成度

基本計画に掲げる目標／指標			単位
①	実感指標	税金が有効に使われていると思う町民の割合	%
②	客観指標	経常収支比率(経営政策課)	%
③	客観指標	実質公債費比率(経営政策課)	%
④			

アウトカム／成果目標の進行管理										
	当初値	28年度末	29年度末	30年度末	元年度末	2年度末	目標値	達成度	変更目標値	変更年度
①	13.6	17.1	18.3	15.6	19.8	—	↗	—		
②	87.9	90.3	93.0	89.7	89.7	92.1	87.0	0%		
③	13.7	10.7	10.8	10.8	11.0	9.7	11.0	100%		
④										

■施策における総括

前年度までの課題	山積する課題に対応するため、基金の取崩しに依存する厳しい財政運営を余儀なくされている。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、税収等の歳入の増加が見込めず、歳出の増加が見込まれると考えられるが、財政運営への影響がどの程度になるのか不透明な状況である。
今年度の取り組み(成果、効果)	様々なコロナ対策事業の実施などにより12回もの補正予算を編成するなど、緊急時の財政運営を強いられることとなった。コロナの流行を自然災害と同等と捉えて財政調整基金を取崩したことにより基金が減少するなど、財政基盤の強化を図ることができなかった。
次年度以降に改善すべき課題	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化の様相を呈しており、税収の伸びが期待できないばかりか減少も見込まれる。また、個別施設計画に沿った老朽化施設の改修工事が本格化し、町債の残高増加による公債費の増加が見込まれる。歳入の状況に見合った事業の実施や平準化を図ることなどで、財政の悪化を最小限に止める必要がある。

■総合計画の進行管理

(1) 施策実現への取り組み		(2) 施策実現への進捗状況	
	①着実に取り組まれており評価できる。		①計画以上に進んでいる。
○	②取り組まれているが、まだ改善の余地がある。	○	②計画どおり順調に進んでいる。
	③取り組みが不十分であり対策が必要である。		③進んではいるが、スピードが遅い。
	④取り組みがなされていない。		④進捗が見られない、または後退している。